

光学顕微鏡

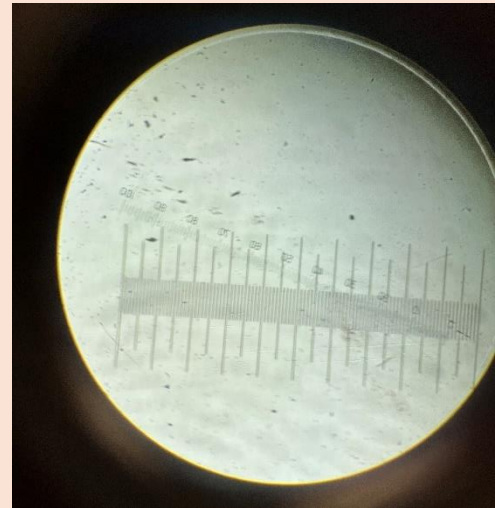


令和8年5月29日(金)

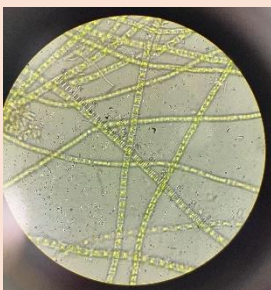
5月に入り、1年次生の【生物基礎】ではいよいよ実験が始まりました。最初に「光学顕微鏡で検鏡すると実際とは異なる向きに見える」という仮説のもと、どれくらいの小さなものが上下左右どの向きに観察されるかをレポートにまとめました。次に「マイクロメーターの使い方」を学びました。班で協力しながら接眼マイクロメーターの1目盛の長さを計算することができました。いよいよ中間テスト明けには「細胞の観察」を行います。多くの人が「実験」を楽しみにしています！仮説を立証して「発見」があると楽しいですね！



↑ 仮説を立てて実験の方法を自分たちでデザインしました。班で相談をしながら倍率や使用するレンズの種類を決めました。



↑ 2つのマイクロメーターの目盛を合わせることに苦戦しましたが、慣れてきたらすぐにできました。



← 「おもだか池」を独占する謎の「藻類」。この種を同定できたら2年次生の探究プロジェクト「それ南高生にやらせて下さい」で「おもだか池の再生」に取り組む先輩方に貢献できるかもしれません。



【生徒のみなさんの声】

- ・顕微鏡の接眼レンズを取り付けるのは初めてだったけれど上手にできた。
- ・上下左右反対に見えることは頭で分かっているけど、それを証明するレポートを書くのが難しい。
- ・上下左右反対であることを証明するには、良い文字と悪い文字があることが分かった。
「F」は良いけれど「A」はダメ！「9」は良いけれど「8」はダメ！ひらがなは大抵良い。
- ・中学校で勉強したことを再度確認することができた。